

令和7年度カリキュラム概要

1年次

内科ローテーション 24W	麻酔蘇生科8W	外科8W	救急部8W
---------------	---------	------	-------

2年次

小児 4W	産婦 4W	精神 4W	地域 4W	整形 4W	脳外 4W	選択研修(約30W)
----------	----------	----------	----------	----------	----------	------------

カリキュラム内容

- 内科ローテーション 24週間
 - ・ 総合診療、循環器、消化器、肝臓、呼吸器、腎・膠原病
血液・腫瘍、糖尿病・内分泌・代謝、神経、緩和ケア
 - 外科 8週間
 - ・ 一般外科 8週間
 - 麻酔蘇生科 8週間、救急部 8週間
 - 小児科 4週間、産婦人科 4週間、精神科 4週間(県立丸亀病院にて)
 - 地域医療 4週間(小豆島などの協力型病院)
 - 整形外科 4週間、脳神経外科4週間は省略可能(希望者のみ)
 - 選択研修 約 30週間(自由に分割して選択研修)
 - 一般外来研修 4週間(院内・院外)
 - 夏季休暇 1年次、2年次とも 1週間
- * 希望がある場合には、相談の上、一部変更可能

カリキュラムの解説

内科ローテーション 24週間

- 臨床の基本分野である内科学の研修です。

- ・ 各分野のスペシャリスト(各専門分野の学会認定指導医等)による指導のもと、基本的な疾患から稀な疾患まで直接患者さんの診療を行いながら、病態、診断、治療について研修していきます。
- ・ 総合的な内科診断学は、総合診療部の外来研修、症例検討会などで研修します。
- ・ 輸血、感染症検査などは実習形式で指導します。
- ・ 学会発表、論文発表など、アカデミックなトレーニングができるよう配慮しています。

一般外来研修 4週間

- ・ 一般外来研修 当院及び臨床研修協力施設において、総合診療(初診患者の診療及び慢性疾患の継続診療)の研修をしていただく予定です。

• 麻酔蘇生科8週間、救急部8週間

– 麻酔蘇生科では基本手技と全身管理を、救急部ではあらゆる救急疾患を研修します。

- 麻酔蘇生科では気管内挿管、腰椎穿刺、血管確保など基本手技のトレーニングを集中的に行います。
- ICUでは重症症例を診療しながら、人工呼吸器管理、輸液管理など全身管理について実践的な研修を行います。
- 救急医療は救急部8週研修と日当直をあわせて、厚労省が定める12週の必修研修にしています。
- 1次から3次までのあらゆる救急疾患を経験することで、幅広い知識と技術が身につきます。まさに臨床医として成長し、逞しくなっていくのが実感できる日々です。

• 一般外科8週間、脳外4週間、整形4週間

- 脳外科と整形外科を意外に感じるかもしれませんが、実際の臨床で脳血管障害や外傷に遭遇する頻度は大変高く、内科疾患に匹敵するcommon diseaseであると考えています。
- 一般外科では外科基本手技、腹部・胸部・乳腺内分泌外科学、腫瘍外科学などの基本的な考え方、周術期管理などを研修します。
- 脳外科では、頻度が高い疾患である脳血管障害の、初期治療から、手術、後療法まで研修します。また、頭部外傷、腫瘍疾患も多く経験します。
- 整形外科では骨折、脱臼、捻挫、脊髄・神経損傷、など種々の外傷症例を経験し、その基本的な診療方法を研修します。救急では多発外傷も多数受け入れており、外科系の複数科が協力して治療を行っています。

- **小児科4週間、産婦人科4週間**
 - 小児の診療、産科をはじめとした女性疾患の診療を研修します。
- **地域医療4週間**
 - 小豆島中央病院、陶病院といった地域医療を支える協力型病院で最前線の診療を研修していただきます。
- **精神科4週間**
 - 県立丸亀病院で精神疾患の研修を行います。
 - 認知症、気分不良・うつ病、統合失調症、を精神科医の指導のもと診療し、症例の病歴要約を作成します（厚労省で定められた必修病歴要約の1つ）。
 - 向精神薬の使い方を研修します。

- **選択研修約30週間**
 - 選択科とその研修期間を自由にデザインして研修していただきます。
 - ほとんどの科が選択可能です。放射線読影、病理などもあります。
 - 1年次の終わり頃に大まかな選択計画をきめ、研修医間での調整を行います。
 - 四国他3県立中央病院での1週間の研修も選択可能です。
 - 香川大学附属病院での感染症科の研修も選択可能です。
- **その他**
 - 1年次、2年次とも夏季休暇を1週間ずつ確保しています。
 - 指導医とともに、当直または土日の日直を月に3(-5)回行います。救急研修の一部になっており、臨床医として実力がつきます。
 - 眼科、耳鼻科などの検査手技はセミナー形式で研修を行います。またスキルラボで人形を用いて、CVカテーテル挿入などのレクチャーも行います。モーニングレクチャーでは指導医、上級医により様々なテーマについて講義が行われます。
 - 提示した基本カリキュラムは当院の特長を最も生かしたもので推奨しますが、強い希望がある場合には、整形外科、脳神経外科を省略することができます。